

平成16年度
老人保健健康増進等事業
による研究報告書

平成16年度

高齢者認知症介護研究報告書

<痴呆性高齢者の地域包括ケアシステム推進および
尊厳維持に関する研究事業>

社会福祉法人 仁至会

認知症介護研究・研修大府センター

認知症介護指導者養成研修の評価に関する研究

指導者研修の自己評価

記入時の注意事項

1. 指導者研修前期・後期、および研修修了後3ヶ月・6ヶ月・1年後の各期にそれぞれ段階をおって自分の課題を明確にし、目標を設定する。
2. 各期ごとに、課題項目に対しその到達度を、評価基準に基づいて5段階で自己評価を実施する。該当しない項目はGとする。

評価基準	達成度
1. まったくできない	0～19%
2. 少しできる	20～39%
3. まあまあできる	40～59%
4. かなりできる	60～79%
5. 十分できる	80～100%
G	該当なし

3. 研修中は研修部のスタッフと面接、自己評価について振り返ることにより次の課題を明確にし、目標を設定する。
4. 研修修了後は、上司、又は同僚に他者評価を依頼し、コメントを頂く。
6ヶ月後、1年後の自己評価については研修部スタッフにメール、FAXにて報告とする。

これは研修生を評価するものではなく、研修生自身が課題を明確化し意識を持ち続けることに意義をもつ、また研修部にとって研修生の課題を把握するために行うものです。

指導者研修の自己評価(研修前期、後期)

NO.1

	期生	氏名	
前期目標(課題)の設定	月	日	
振り返りによる課題の明確化	総合評価		
後期目標(課題)の設定	月	日	
振り返りによる課題の明確化	総合評価		

課題項目		月	日	月	日	自己評価	研修部
1	認知症高齢者の医学的・心理学的理解から生活に及ぼす影響がわかる						
2	認知症高齢者の生活環境と日常生活の中でなにを求めているか理解できる						
3	認知症高齢者の家族、高齢者と家族との関係が理解できる						
4	認知症高齢者の権利擁護と自己決定支援について理解できる						
5	認知症介護の基本的理念が理解でき自分のものでして解説できる						
6	認知症介護実践研修の目標、内容について理解できる						
7	認知症介護リーダー研修の目標、内容について理解できる						
8	認知症介護実践研修の企画・運営とおし効果的企画の方法がわかる						
9	教育研修方法の基本的理解と講義・演習の効果的企画の方法について理解できる						
10	演習に用いられる技法、リーダーの役割が理解できる						
11	講義・演習のGWをおし教材の検討、講義内容の精選ができる						
12	指導目標が達成できる、講義・演習の企画ができる						
13	模擬講義をおし講義・演習企画の実践ができる						
14	認知症介護の課題解決技法について理解できる						
15	認知症介護に必要なコミュニケーション技法について理解できる						
16	認知症介護のケア・マネジメント、理念について理解できる						
17	ケアマネジメントの事例展開ができる						
18	人材育成のための目的、方法について理解できる						
19	人材育成において職場の課題を明確にすることが出来る						
20	スーパービジョンの方法と内容が理解でき演習による体験ができる						
21	認知症介護の基本的理念にもとずいて認知症高齢者の職業について理解できる						

評価基準	達成度
1. まったくできない	0~19%
2. 少しできる	20~39%
3. まあまあできる	40~59%
4. かなりできる	60~79%
5. 十分できる	80~100%
	該当なし

指導者研修の自己評価(職場)1年後

期生	氏名
目標(課題)設定	月 日
具体的方法	
振り返りによる課題の明確化	総合評価

NO.4

課題項目		月 日	月 日	自己評価	他者評価
1	認知症介護の基本的理念にもとづいて職員間で共有するようはたらきかけすることができ				
2	職場における認知症介護の課題を明確にすることができる				
3	認知症介護における職員のニーズ、必要性を把握して職場研修の目標の設定、企画ができる				
4	職場研修の企画を参加者に合わせ実践できる				
5	基本的理念に基づく5つの視点に沿ったケアプランの作成、実践につながるよう指導できる				
6	ケアマネジメントの事例展開(カンファレンス)ができる				
7	認知症介護実践研修は理念に基づき、地域のニーズを把握した上で企画できる				
8	認知症介護実践研修の企画は、参加者のニーズを把握したうえで目標を明確にできる				
9	認知症介護実践研修においてファシリテーターとして参加者のグループを動かし望まれる結果を予測できる				
10	研修の企画は「導入、展開、まとめ」の内容を精選して企画できる				
11	研修展開の準備として教材を納付するまで検討することができる				
12	指導目標が達成するよう、研修の展開ができる				

コメント

評価基準	達成度
1. まったくできない	0~19%
2. 少しできる	20~39%
3. まあまあできる	40~59%
4. かなりできる	60~79%
5. 十分できる	80~100%
G	該当なし

高齡者痴呆介護研究 ～平成16年度報告書～
平成16年度老人保健健康増進等事業による研究報告書

発行：平成17年5月

編集：社会福祉法人 仁至会

認知症介護研究・研修大府センター

〒474 - 0031 愛知県大府市半月町三丁目 294 番地

TEL(0562)44 - 5551 FAX(0562)44 - 5831

発行所：サカイ印刷株式会社

〒452 - 0805 愛知県名古屋市西区市場木町 29 番地

TEL(052)501 - 0754 FAX(052)502 - 9674